



Leaving Care Center ひまわり



民生委員さんとの会合風景

「ごきげん・よい言ひの時間」



「安心」の時間

障がい者を地域で支える体制づくりモデル事業 (松東エリア)について

理事長／山本昌子

昨年8月にこの事業の受託が決定し、多くのご家族様にアンケートのご協力を頂きました。20年も福祉事業をしながらいまさらアンケートもないだろうと疑問に感じられる方は多いと承知しながらも、そこから始まらなければだめだと思った次第です。1000人の方にお願ひし36%強のご回答を頂きました。ありがとうございました。

①困ったら、ご親戚、ご近所の民生委員さん、先生、事業所などいつも懇志にされていて信頼できる方に登録担当者、SOSコール担当者になっていただく。

②担当者の方からSOSコールが入れば夜間でも当法人の担当者・待機者が支援に駆けつける。

今年は、地震や津波の大きな被害もあってか、地域という言葉が頻繁に飛び交っています。これまで、障がいに関しては行政がパイプ役でしたので、障がいがある方を地域で支える体制づくりというこの事業は出発点に立ったばかりです。それでも、松東地区(美保関町・島根町・本庄町

・八束町・持田町・朝酌町・川津町)の民生委員さんと連携を深めつつあり、ここを大切に、地域で支える体制が定着し少しでも役割が果たせ、助かったと言ってもらえるようになりたいものです。アンケートの結果からも、いざという時には近くに助けに来ていただける方や駆け込む場があるといいというご意見がありましたが、ご近所とは良いことでは喜び合って悪いことは許しあってという関係が大切なのですね。平素からかわりを持って助け合って暮らす。そんな関係が薄らいでしまいつつある中で、なくしたものの大きさ・大切さに気付き、価値観の見直しを感じるのは私だけではないように思います。千鳥福祉会は少しでも松東エリアの方々の安心感に繋がればと毎日待機者を決めて24時間サポートの体制をとっています。パンフレットがご入用の方は下記までご連絡ください。

●連絡先／コーディネーター 竹内淳子
(0852-24-8807)

障がい者の暮らしの場とは？

共同生活事業所 寺本恵里香



私は、共同生活事業所の生活支援員として3年が経とうとしていますが、いまだに毎日の支援に悩んでいます。ホームは、利用されている方にとって「帰る場所＝家＝くつろぐ場」なので、作業から疲れて帰ってこられるとそれぞれ、テレビを見るなり、音楽を聴くなりされています。その一方でお菓子やカップ麺を食べたり、DVDを夜遅くまで見たりされていることがあります。お小遣いをDVDやお菓子に使うのが一番の楽しみだということはわかっていますが、それが体重増加に、ひいては糖尿病を引き起こすとなると、どうしても控えめにするよう声掛けをします。しかし、世話人がいないところではコンビニで買ってきては食べておられる事もあり、なかなか欲しいものを控えることはできないようです。「お菓子を食べながらテレビやDVDを見る」ということは「普通の生活」であり、そこに幸せを感じておられるでしょう。そこを私が全て否定してしまうとご本人にとってのホームは「ただの息苦しい、我慢ばかりさせられるところ」になってしまい、「あなただけの生き方を支援し続けます」という理念に反することになります。だからと言って好き放題では世話人としての役割が果たせない……とても難しいです。

グループホームでの「自由」にどこまでのところでラインを引いて皆さんを支援していけばいいのかということも、常に考えさせられます。そのうえで、やはり利用者の方との信頼関係はすごく大切になってくるので、私もゆっくりと良い関係を築き利用者の方一人ひとりの「自分だけの生き方」を知りサポートしていけたらと思っています。

「おはようございます、今日も来たよ」

持田 寮 山崎 雅子



持田寮からは、今年の春も1名の利用者の方が練習を経て、入所から地域のホームへ出て生活を送られています。春から2か月経ちましたが、もともと住んでおられた利用者の方ともすぐに打ち解けられ、新鮮な生活環境での毎日をご過ごされているようです。日中は、持田寮の生活訓練事業に通われていますが、毎日通って来る事も、これもまた今までになかった経験で大変喜んでおられます。

「おはようございます、今日も来たよ」と満面の笑みを見せて下さると、満たされた気持ちで朝を迎えられたのだな、と嬉しい気持ちになります。

また、生活介護事業では、農園芸、リハビリ、リサイクル、プレ作業とあります。寒い冬が終わり天候の良い日が増えるとウォーキングや草取りといった外での活動もでき、得意な事ができる場面では利用者の皆さんもうれしいようで、にこにこいい笑顔が光っています。「今日は楽しかった」「心地いいな」と、利用者の皆さんのきらきら光る笑顔でいっぱいになるよう、お手伝いしていきます。

安達です! (^_^)(*_*)(>_<)(^_^)

ケアセンター大空 安達 浩史



私は山が好きだ。去年は北アルプスの山小屋で4カ月働いた。富士山の山頂で働いた経験もある。山での仕事はとても厳しく、重労働である。朝3時半起床し、21時ごろまでほとんど休まず働く。仕事や集団生活に耐えられず、途中下山する仲間も多い。好きだからこそ最後まで仕事できたと思う。

1月から大空で働かせてもらっている。何もかも分からない状態から始まった。試行錯誤の手探り状態。相手と上手くコミュニケーションが取れず悩むことも多い。自分が本当に支援しているのか?自己満足しているだけではないのかと思う時もある。福祉の仕事は変化する時代についていかなければならず、日々勉強が必要だとも感じている。しかし、利用者さんと関わることは、日々変化があり面白く、結構好きだ。「今日の山に全力で登ろう。そして、毎日毎日一歩だけ進もう」と日々思いながら過ごしている。そうして寝ると気分がいい。

運動会

運動会実行委員 藤井 のぞみ

雨天のために1週間伸びて、6月5日に運動会を行いました。伸びたので二週間前から利用者さんは運動会を楽しみにそわそわしておられました。リハーサルも本気モードで競っておられました(うれしいです)。競技は7種目ですが、それぞれ利用者さんに合わせて考えました。工夫した甲斐もあって、多くの笑顔や必死になって走っておられる姿を見る事が出来ました。感動です。また、ご家族の皆様にも一緒になって参加してもらい、その中で「ありがとう。楽しかったわ」とお声をかけて頂き、更に嬉しさがこみ上げてきました。玉入れ、綱引きはチームが一丸となって事業所関係なく盛り上がりました。運動会の締めくくりには、平成ニュータウンの子供会の皆さんにたくさんご参加頂き、大変うれしく思いました。

運動会を通して、利用者さんの普段見られない姿や表情を見る事が出来た時に、準備は大変でしたがとてもやりがいを感じました。「来年もやるぞ!」の意気込みですので楽しみにしてください。そして、島根大学のボランティアの皆様、ご支援ありがとうございました。



高組優勝!



閉会の言葉!



選手宣誓→



名司会です!

心も身体も、みんなー



楽しいよ!



職員も混じって色別リレー!



話も弾んで!



ワークセンターフレンドの今とこれから

ワークセンターフレンド管理者 松浦 和志

ワークセンターフレンドも、就労移行支援事業をスタートさせて4年目となりました。利用者の方達の就労支援も軌道に乗り、昨年度は6名の方が一般就労をされ、今もイキイキと働いておられます。これは、法人外の支援機関と連携を取らせていただいた賜物であり、県内の障害者就労支援の輪の広がり、絆の深まりを感じています。フレンドはいつも新しい利用者さんを募集中ですが、今年度は2名の新規利用があり、一般就労支援も順調で、6月には1名就労をされています。また、就職を前提とした企業実習も進行中で、近々面接に進む予定です。フレンドでの訓練は体力も根気も必要で、利用されている方々は本当によく頑張っておられると思います。今後も皆さんの夢の実現に向けて、精一杯支援をさせて頂きたいと思ひます。

センターひまわりでの活動が始まりました。

L.C.C.ういんぐ 長野純哉

2月に完成したLeaving Care Centerひまわり(通称:センターひまわり)は相談事業や24時間サポート事業の事務所も置いていますが、主に地域活動支援センター事業の場になりました。新しい環境での活動となり、ご利用の方も、職員も新鮮な気持ちで取り組んでいます。大きなスクリーンなど新しい設備によりメニューの幅も広がった他、洋間と和室を使って活動スペースの二分化することによって2~3種類のメニューを同時に展開できるようになりました。利用者の方には「センターひまわり」の空間が、さらなる「楽しみ」を実感できる空間になったように思います。今後は地域の方も参加して頂けるような内容を考え、地域交流の場にしていきたいと思ひています。

①土曜日の活動 ②元気体操

持田寮とういんぐ利用の方で、週1回木曜日の午後から元気体操を行っています。「動きのあるメニュー」や「集団で行うメニュー」で、皆さんには積極性やチームワークが芽生えてきたようです。さらに月2回、専門の先生を迎え、「3B体操」にも取り組んでいます。



音楽療法 L.C.C.ういんぐ 永岡 悟

音楽は「快い刺激」「情緒の育成」「運動感覚機能の促進」「知能の啓発」を促し、心身の発育・発達に好ましい変化を与えますが、活動の中で楽しみや生きがいも見出していけるよう支援します。センターが出来たことで活動が少人数化し、歌をうたうときも楽器演奏をしてもらうときも関わりが深まりました。参加者は15名。主に打楽器を使った楽器演奏を主に、音楽の応用編「椅子取りゲーム」をしたり、季節々の歌を個々に自由に身体を使い表現しながら歌ってもらっています。利用者の方には「楽しかった、良かった、面白かった」と言っています。

センターひまわりでの音楽療法:毎週、月曜日・午後1時~3時/専門の音楽療法士さんによります。



①土曜日の活動



②元気体操

バンがとれてよかった!

もうあく出番だよ!

お母さんといいなあ!

ほんとうはね、二つ欲しいね!

それ~!

平成新タウンの子供会!

白熱しました!

1位

最高だね!

任せこよ~!

みんなも引つ張れやあ!

2位

やっぱりいいね!

一緒に走ってる!

頂戴ものを致しました。ありがとうございました。

千鳥福祉会サマーフェスタ2011
7月17日(日) 16:00~21:00



ヘルパー車

日本財団様から、千鳥福祉会ケアセンター大空は福祉車補助金により、ヘルパー車を購入させて頂きました。小回りのきく車の増車が出来た事により、おかげ様で支援の幅を広げる事が出来ました。毎日の移動に大変活用しております。



空気清浄器

新和設備株式会社様からウイルスも除去するという優れたものの空気清浄器を3基頂きました。センターひまわり、持田寮集いの場、来客用相談室に設置しました。集団生活ですから、インフルエンザなど流行には大変気を使います。きっと威力を発揮してくれると思います。



地デジテレビ

松江土建株式会社様からワークセンターフレンドは地デジ対応のテレビを頂きました。利用者の皆さんの休憩室に置きました。これで一安心です。



芝桜ありがとうございました。保護者会の皆様へ、昨年植えていただきました芝桜はこの春とてもきれいに咲きました。来年もきれいに咲くよう、手入れをして楽しみにします。

今年も夏祭りをします。早いもので今年は10回目を迎える事になりました。多くの皆様楽しんで頂けるよう楽しい企画を満載します。ホーランエンヤで始まりベイジーやクロコショーも来ます。平成ニュータウン子供会と上乃木キッズの皆さんと一緒に会場いっぱい歌声が響くシーンもあります。どうぞお出かけください



平成22年度 苦情受付・解決への取り組み報告

前年度6件の申し出を受け、謝罪、解決に向けた取り組みや話し合いによりご理解を頂きました。今後も精いっぱい支援向上に努めます。お気兼ねなく申し付け下さい。

●共同生活介護・援助事業

- ・利用者間トラブルに対する職員の対応について(ご家族から)
- ・グループホーム近隣での危険場面について(ホーム近隣の方から)

●ケアセンター大空

- ・外出支援中の寄り添いの緩みについて(ご利用者様から)
- ・キーレス車のエンジン切り忘れについて(ご家族、駐車場管理人様から)
- ・ヘルパーの遅刻及び連絡不足について(ご家族から)

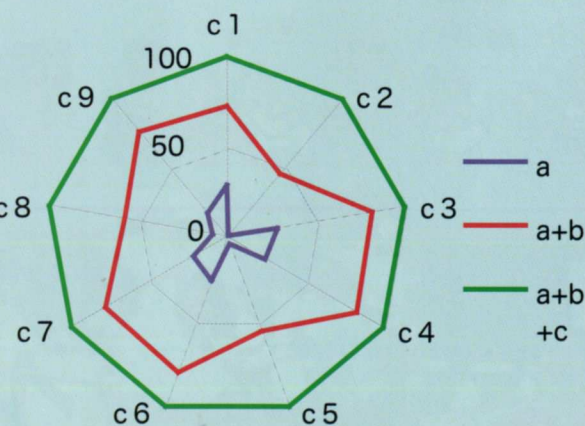
●持田寮

- ・居室の環境改善について(ご家族から)

平成22年度セルファアセスメント全数調査結果

総評: 目指すものは浸透したが、日々の実践に生かす計画の遂行でまだ弱さがある。従って、次の課題を明確にし向かう点で足踏み状態があるのは否めない。情報を広く持ち、利用者満足の高い適切な事業を目指したい。

- c1 リーダーシップ性
- c2 計画と遂行
- c3 社会的責任
- c4 利用者理解と対応
- c5 独自能力と次の課題
- c6 組織力・コミュニケーション
- c7 価値創造のプロセス
- c8 情報
- c9 事業の結果



(a:出来ている b:出来つつある、努力している c:出来ていない、知らない)

パタカラ (口腔筋トレーニング器具) 健康講座開催のお知らせ

- 日時: 8/23 (火) 19:00~20:30
- 場所: センターひまわり
- 講師: 日本大学歯学部 秋広良昭先生